

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

(’11PSシリーズ (TCF5501E系) / ’12・’13PSシリーズ (TCF5502E系) 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

*** 便器洗浄リモコンを併設する場合は、特1～特6で切り替えてください。
理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。**

正 規 品	(タ イ プ) 1	(タ イ プ) 2	正 規 品	(タ イ プ) 1	(タ イ プ) 2
(タ イ プ) 3	(タ イ プ) 4	(タ イ プ) 5	(タ イ プ) 3	(タ イ プ) 4	(タ イ プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

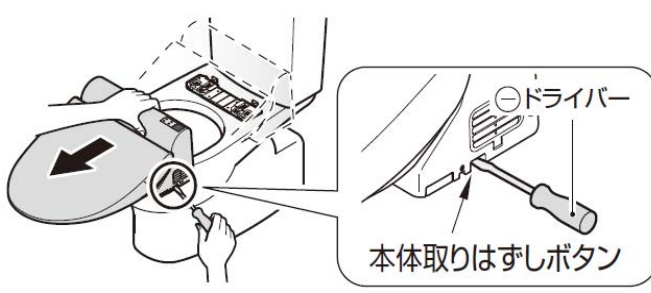
<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に…

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。



◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1

本体操作部の **運転** を10秒以上押し続ける

10秒後に全てのランプが**5秒間点灯**します。

本体表示部

● 運転 ● 便座
● 温水 ● 節電

→

● 運転 ● 便座
● 温水 ● 節電

→

● 運転 ● 便座
□ 温水 □ 節電

この間**5秒**

緑色点灯
温水・便座 → 緑色点灯
運転・節電 → 橙色点灯

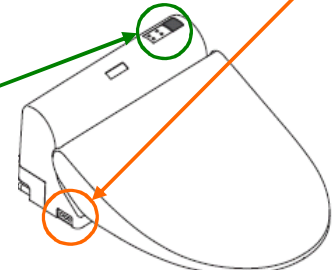
※下図は例です>>

ランプが全点灯から点滅になったら、最初からやり直してください。

本体操作部

運転 ビデ おしり
入/入/入/切 入/切

手順3まで押したまま



2


運転 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)

すると、**すぐに** **ビデ** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部

運転 ビデ おしり
入/入/入/切 入/切



3

◆失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

運転 を押したまま、**おしり** を押す。

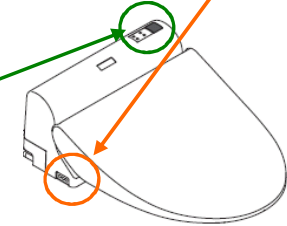
おしり を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。


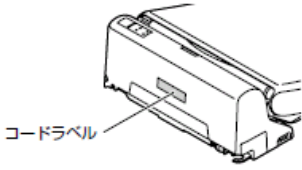
*** 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。**
理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため

本体表示部

●…点灯 ×…消灯

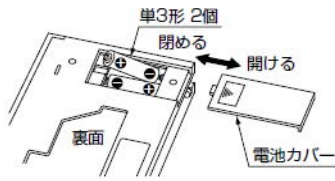
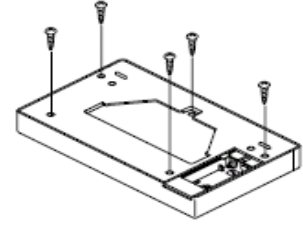
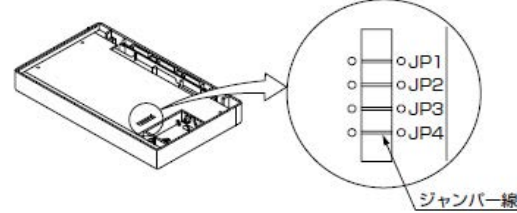
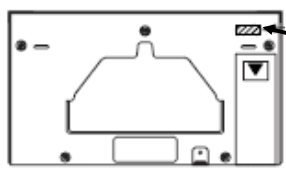
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●



手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<p> 運転  から手を離れた時点で設定したコードになります。 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p> </div>	
5	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>	

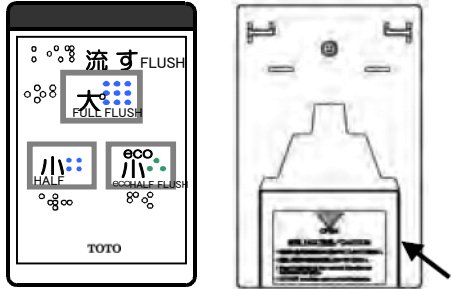

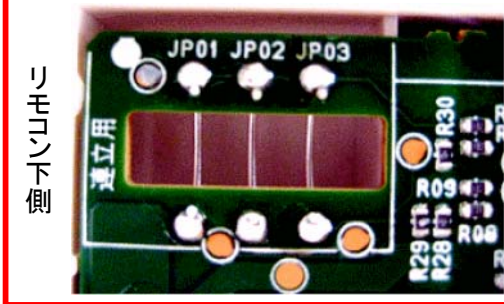

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側(シンプルリモコンの場合)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、リモコン本体のランプが消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: white; font-weight: bold;"> ご注意!! </div> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> 																																																							
2	<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> 																																																							
3	<p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p> <p style="color: red; text-align: center;">* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</p> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="207 1131 997 1344"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: white; font-weight: bold;"> ご注意!! </div> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> 	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。 </div> 																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

<<リモコン側(便器洗浄用リモコン)の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																													
<p>1</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>	 <p>「表側」 「裏側」 電池カバー</p>																																																												
<p>2</p>	<p>リモコン裏面の固定ねじ1本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>	 <p>固定ねじ</p>																																																												
<p>3</p>	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">リモコン下側</td> <td>コード標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">リモコン上側</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP01</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP03</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="6">○:つながったまま 切:切断</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p>リモコン下側</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  <p>リモコン上側</p> <p>コード表</p> <p>ジャンパー線</p> <p>リモコン下側</p> </div>			標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3								リモコン下側	コード標	1	2	3	4	5	6	標	リモコン上側		JP01	○	切	○	切	○	切	○			JP02	○	○	切	切	○	○	切			JP03	○	○	○	○	切	切	切				○:つながったまま 切:切断								<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。 ◎リモコン基板の方向は、左画像とは異なりますのでご注意ください。 </div>
		標:標準品 1:タイプ1 2:タイプ2 3:タイプ3																																																												
リモコン下側	コード標	1	2	3	4	5	6	標	リモコン上側																																																					
	JP01	○	切	○	切	○	切	○																																																						
	JP02	○	○	切	切	○	○	切																																																						
	JP03	○	○	○	○	切	切	切																																																						
		○:つながったまま 切:切断																																																												
<p>4</p>	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																													
<p>5</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>	<p>例</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>																																																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)